



ごあいさつ

このたび「ひまわり新聞」VOL. 6を発行することになりました。
日ごろよりの皆さま方のご支援、ご理解に、心より感謝申し上げます。
はじめに、このたびの新型コロナウイルスに罹患された皆さまと、感染拡大により生活に影響を受けている皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。
さて、昨年の9月議会で要望させていただきました「中央公民館の予約・申請手続」の見直しについて、迅速なご対応をいただき、アンケート調査等により市民の皆さまからのご意見を把握された上で、改善策の検討をしていただきました。その結果、使用許可申請書のご提出をいただいたうえで、使用日を調整するという新たな予約受付の仕組みが、昨年12/15の広報とうがねでも周知され、令和2年1月から予約開始となる3月使用分より始まり、現在混乱もなく動いております。今年は暖冬ですが、市民の皆さまからは、寒い朝、6時前から並ぶことなく、手続ができるようになり、大変ありがたいとお声をいただきました。

今後とも、力を尽くして参りたいと思いますので、さらなるご支援、ご理解のほど、何卒よろしくお願いいたします。

東金市議会（3月）定例会 一般質問質疑

3月定例会一般質問 (個人質問)

3項目について質問

- ◇高齢者施策について
- ◇市長の目指す千葉県子育て環境ナンバーワンについて
- ◇感染症対策について

高齢者のごみ出し支援について

質問：現在、本市でも、高齢者だけではなく、全ての市民の皆様に「誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らし続けることのできる地域の実現」を目指す、地域包括ケアシステムの取組みを、最も重要な課題として進めています。

これから益々、高齢者の、それも女性のひとり暮らしが増えていくことが予想されます。そして、家庭のごみを集積場までご自分で持っていくことがなかなか難しい人はこれから更に増えてまいります。

市町村の中には、戸別訪問で回収したり、NPOによる生活支援に補助を

出したりしているところもありますが、そうした取組みを行っているのは、全体の23.5%です。財源不足もあって4分の1以下にとどまっているのが現状のようです。

ニーズが一段と高まる今後を見据え、この東金市でも何とか、このごみ出し支援ができないだろうかと考え、すでに行われている、船橋市と千葉市取材してきました。

東金市においても、このごみ出し支援や、住民主体の互助のネットワークづくりがとても重要であり必要だと思います。高齢者支援策として、ごみ出し支援、地域で高齢者を支える地域づくりについて要望させていただきます。市長のお考えをお聞かせください。

答弁：ごみ出し支援をはじめ、買い物や見守り支援などの、行政や民間のサービスの手の届きにくい、生活上のちょっとした困り事の解決に向けては、ご近所同士の助け合い、支え合いの地域づくりが必要であると考えます。

本市におきましても、地域包括ケアシステムが目指すべき姿である「医療

や介護が必要な状態になっても、可能な限り、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを最後まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービスの提供体制の構築」につながる地域の支え合いの取組みを推進しているところであります。

私の思い：今後、高齢化が進行する中で、本市としてもきめ細やかにしっかり支援していくことが必要です。総務省は「ごみ出しのサポートを展開している市町村に特別交付税を措置し、それで必要な経費を賄えるようにしていく」と表明しました。本市においても何とかこのシステムを導入できるよう、庁内連携をし、工夫して、より良い施策となるよう、実現に向かって進んでいきたいと思っています。



子育てアプリについて

質問：12月2日から、山武地域で初となる「子育てアプリ」が試行導入されました。

私も実際に使ってみました。子育てをしていく上で、あったら良かったと思うような、非常に便利な機能があるように感じたので、たくさんの子育て中の保護者の皆さんに利用してもらいたいと感じました。

試行期間は3月で終了の予定ですが、今後どのようにこのアプリを運用していく予定でしょうか、お伺いします。

答弁：「子育てアプリ」につきまして、4月からの本格導入に向けて、令和2年度当初予算に計上させていただいております。現在の試行実施の中で、改善事項を把握すべく、登録者339人に対し、「機能面」や「情報の充実」について、アンケート調査を行ったところでございます。

今後も、定期的にアンケートなどを実施しながら、利用者のニーズを把握しつつ、より使いやすい子育てアプリとして運用していきたいと考えております。

私の思い：平成30年12月議会から5回にわたり要望してきました、待望の「子育てアプリ」、いよいよ4月より本格始動致します。今後も地域の行事、イベント情報、医療情報など、子育てママさんたちに必要な情報発信を引き続きお願いいたします。



訪問型産後ケア事業について

質問：6月、9月議会において要望させていただきました「訪問型産後ケア事業」は、導入を検討しているとのことでしたが、進捗状況をお伺いします。

答弁：本市では、平成30年度から、出産後間もない時期に家族等から産後の援助を受けられない等事情がある母子に対して、医療機関に宿泊して育児支

援や心理的ケアを行う「宿泊型産後ケア事業」を実施しておりますが、宿泊型産後ケアは母1人子1人で利用するため、第二子では利用できないことや、医療機関よりも安心できる自宅で過ごしたいといったご意見もあり、「訪問型産後ケア事業」の導入を検討してまいりました。その結果、令和2年度からの実施に向けて、当初予算に計上させ

ていただいたところでございます。

私の思い：宿泊型産後ケア事業と併せて、産後まもないお母さまに対しての手厚い支援の環境が更に整ってきました。この産後ケア事業の利用がきっかけで、育児不安やさまざまな問題、そして相談先がわかるようになったり、信頼関係ができるようになることを望んでいます。

幼稚園の預かり保育について

質問：子育て支援の充実やそれに向けた環境整備については、市民アンケート結果等を見てもニーズの高さは明確です。高まる保育ニーズに対し、本市では公立幼稚園の教育時間は午後2時までとなっていますが、無償化の対象ともなっている3歳児の預り保育の実施を検討いただけないでしょうか？

答弁：教育委員会としては、教育の入口である幼児教育の重要性については強く認識している。市では今年度から

4・5歳児について、16時30分までの預かり保育を実施しているが、3歳児は、体力面のほか、入園後、保護者や慣れ親しんだ家庭から離れ、様々な不安や緊張を抱えていることから、家庭での健やかな成長をお願いしており、預かり保育を実施していない。3歳児については、心身の発達面における個人差を踏まえたきめ細やかな対応が必要であり、現状の人員体制での実施は困難であると考えている。なお、多様な保護者の要望に応え選択肢を拡大するため、

本市では幼保一体となる認定こども園化を現在進めている。

私の思い：子育て世代からのニーズに対しての課題解決を考えると、やはり、幼稚園と保育園を一体化させたこども園を一刻も早く設置することが、東金市の子育て世帯への支援に繋がると信じています。これは市の財政の健全化にも繋がる重要な施策です。次期総合計画に具体的に、幼保再編、こども園の早期設置を盛り込んでいただきたく強く要望しました。

感染症対策について

質問：東金市教育委員会が、2月28日に、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市立幼稚園・小中学校の休園・休校を決定し、関係者に通知、ホームページ等で公表した結果を受けて、幼稚園に通うお子さんをお持ちの多くのお母さんたちから、疑問の声、「困った、

何とかして」という相談を受けました。市長に、その声をお届けし、幼稚園の開園について要請したところ、早速にご対応いただきまして、心から感謝申し上げます。そこで、幼稚園の開園にあたり、どのようなご対応をいただけることとなったのか、お聞きします。

答弁：3月4日から13日までの期間は午

前8時30分から午後4時30分まで、3月16日から24日までの期間は午前8時30分から午前11時まで、預かり保育を実施することといたしました。

私の思い：新型コロナウイルス感染症に対して、市民の皆様の最前線でご対応くださいますよう、よろしくお願いいたします。



TOPICS

1月21日・29日の2日間、「東金市ロコモ体操」の普及サポーターとして、何かお手伝いできたらという思いから「リーダー養成研修」を受けてまいりました。

ロコモ体操の普及により、住民主体の「通いの場」が、市内各地区にうまれることを期待しています。

